

自然と人との協力

恵明学園小学校 六年 塩谷 柚樹

僕は、箱根の自然が大好きです。ほかの場所とは、ちがう風景で箱根が成り立っています。僕は、小学六年生です。箱根に来て七年がたちます。この壮大な景色に、魅力を感じています。箱根はさまざまな季節によって、姿を変化させます。僕は、紅葉を初めて見た時、とても感動しました。それがきっかけで僕は、もみじの葉っぱや、カエデの葉っぱを集めて、しおりにしました。夏は、暑くて、クワガタをつかまえたりして遊びました。この澄んだ空気のおかげで箱根が成り立っているのだと、実感しています。

また、箱根の動物も大好きです。学校で、算数の授業をしている時に、シカがフェンスの横に出てきたり、時には、たぬきが出てきたりしました。勉強中に、「たぬきだー。」とさげんだ時もありました。そのためたぬきの顔の色合いがかわいかったです。僕の部屋の前に、カワセミが来たことがあります。人なつっこいカワセミで、僕の目の前にずっといました。本当に、ひすい色でした。箱根は、動物とわたしたちがふれあうことのできる宝庫だとあらた

めて思いました。

そんな箱根で、気になっている事があります。それは、『ゴミ』です。散歩する時、ゴミが落ちていきます。たまに、宮ノ下駅を通りかかる時、ペットボトルのゴミが落ちていきます。ゴミを拾っているのですが、行きたんびに、ゴミが落ちていきます。近くにゴミ箱があるのにもかかわらず、なぜゴミ箱に捨てないで帰るのでしょうか。

僕は、毎年ライオンズクラブさんと美化清掃をやっていきます。早川河川じきのあじさいの手入れをやっていきます。あじさいのせんていをしたり、あじさいの周りにあるゴミを拾っています。来年も、きれいに咲いてほしいです。

この多様な自然を守っていくためには、自然を豊かにしていく活動が必要です。一度、自然にゴミを捨ててしまうと、そのつみ重ねで、もう二度ときれいな自然が帰ってきません。この言葉が、ゴミの減少をよびかける言葉になるでしょう。

この箱根の自然を、人と人が協力して、作りあげた芸術

をたくましく育てていきたいです。僕もがんばって、箱根の自然を守り続けたいと思います。